

(1) 香南市人生支援計画の基本的な考え方

1. はじめに

人の一生において、子育てや教育、健康、老後のこと、精神的なこと、生活費など「こんな支援が欲しい」といった支援の必要性を感じることがあります。

香南市では、「人生をトータルでサポートできる行政へ」という目標を掲げ、人生のライフステージに合わせてトータルでサポートできる支援を行います。

市民が必要性を感じる時に、支援できる施策を“みえやすく”提供することを目的として、「人生支援計画」を平成27年度（平成28年3月）に策定しました。

2. 策定にあたって

「人生支援計画」を策定するにあたって、基本的な社会状況を把握しておく必要があります。特に、日本の人口減少問題は、これからの自治体の政策にあたっても重要な課題です。

日本の人口は、急激な高齢化や出生率等の低下などにより、将来、大幅に人口が減少すると予測されています。

このような急激な人口減少・高齢化は、我が国の経済、地域社会、財政、社会保障などあらゆる面で問題を引き起こします。特に、世代間の支え合いの要素が不可欠な社会保障制度は、少子高齢化によって既に、年金、医療、介護をはじめ各制度で、給付の増大や現役世代の負担の増加など多くの課題を抱えています。大幅な人口減少がさらに進んでいけば、これらの制度の持続可能な運営を確保することが難しくなる事態にも直面しかねません。

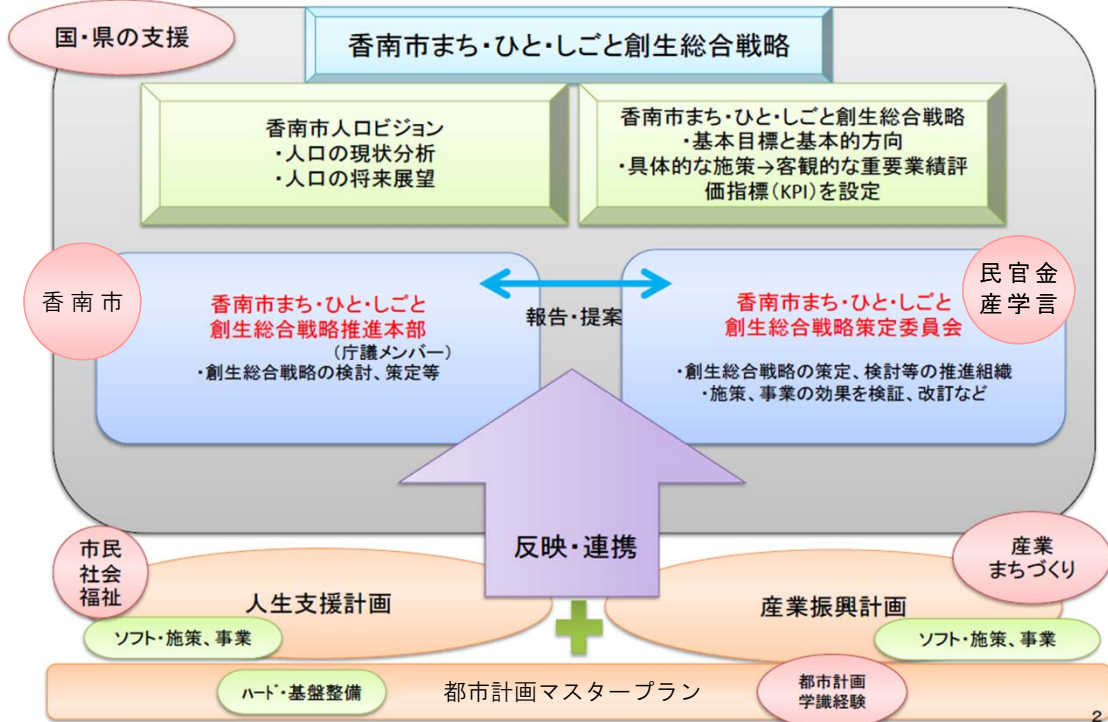
香南市においても、人口減少が進むことによって、世代間の支え合いや交流、経済、暮らしといった面で、大きな影響を与えられと考えられます。

幼年期から高齢期までの各段階で満足ができるように持続可能な支援が必要であり、そのためには、多くの市民が暮らし、働き活気のある地域社会を形成するために、人口減少に歯止めを掛けることが重要だと考えられます。



(2) 「香南市人生支援計画」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関係

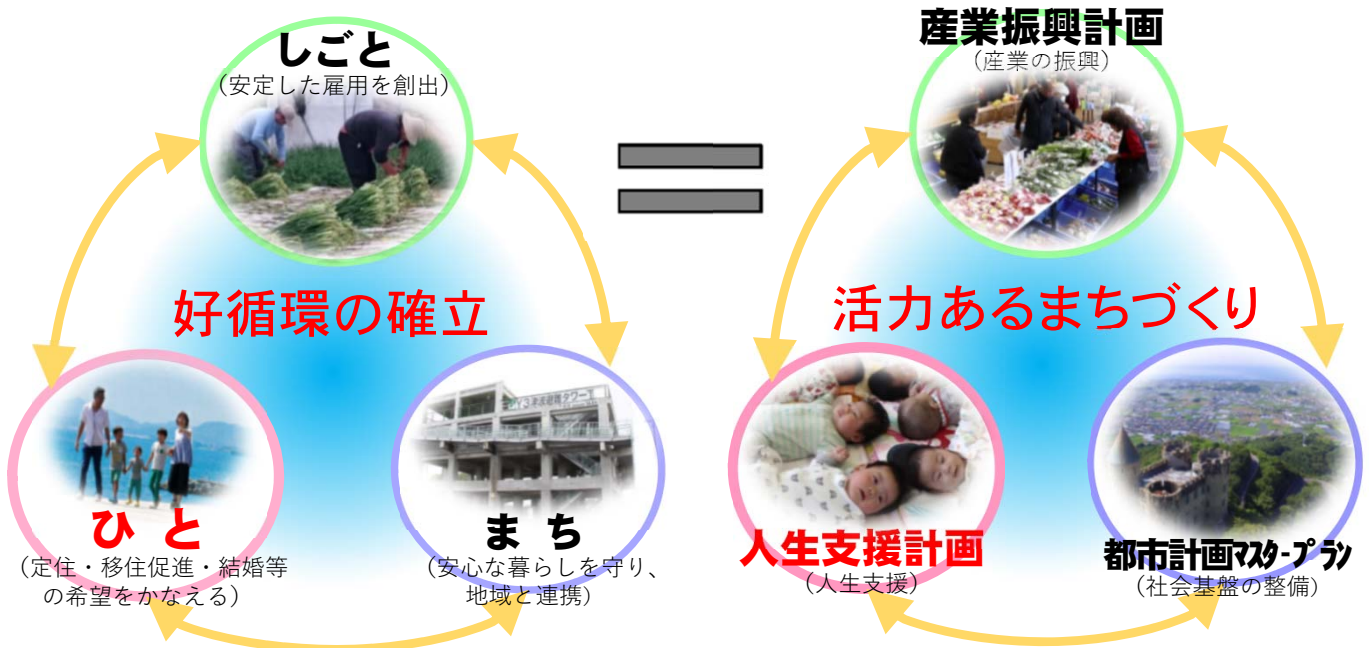
本市では、人口減少問題に対する取組として、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しています。総合戦略の推進管理体制と基本目標、基本的方向についてその概要を、以下に示します。



上記概要のとおり、「香南市都市計画マスタープラン」、「産業振興計画」、「人生支援計画」の3つの計画を柱にして、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に取り組んでいます。まち・ひと・しごと創生総合戦略では、将来の「香南市人口ビジョン」を作成して、具体的な将来人口や出生率等の目標を定め、人口を減らさないための施策等の検討を行っております。

▼ 香南市まち・ひと・しごと 創生総合戦略

▼ 香南市のとりくむ重点施策（計画）

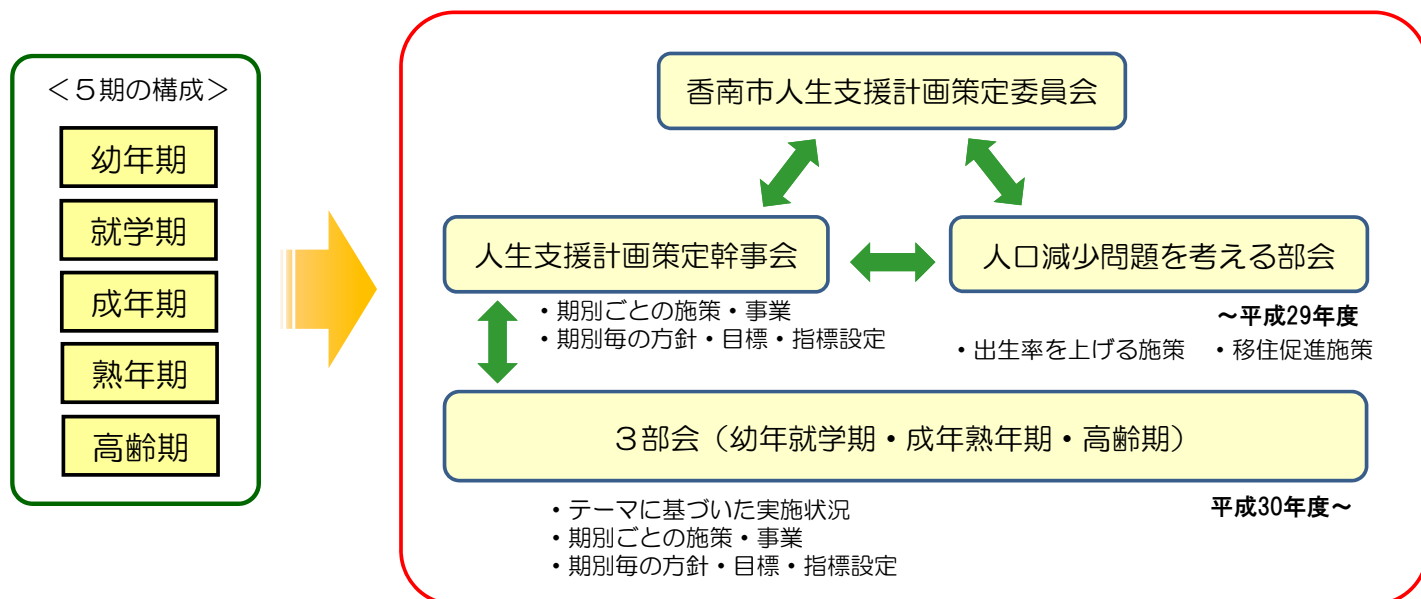


2. 香南市 人生支援計画の進め方

(1) 取組体制について

「人生支援計画」は、人生を5期（幼年期・就学期・成年期・熟年期・高齢期）に分けて、期別ごとの施策を協議しています。

※着実に推進できる体制を強化するため、市民が委員として参加する部会（幼年就学期部会・成年熟年期部会・高齢期部会）を平成30年度に設置しました。



(2) 進捗管理について

「人生支援計画」については、各課が今後、継続的に施策の管理を行うために、**期別ごとに施策の目標と指標（KPI：重要業績評価指標）を設定**します。毎年、PDCAサイクルの視点で「数値目標及びKPI評価書」により施策の評価・改善を行い、市民のニーズに対応した施策の改善を行っていきます。

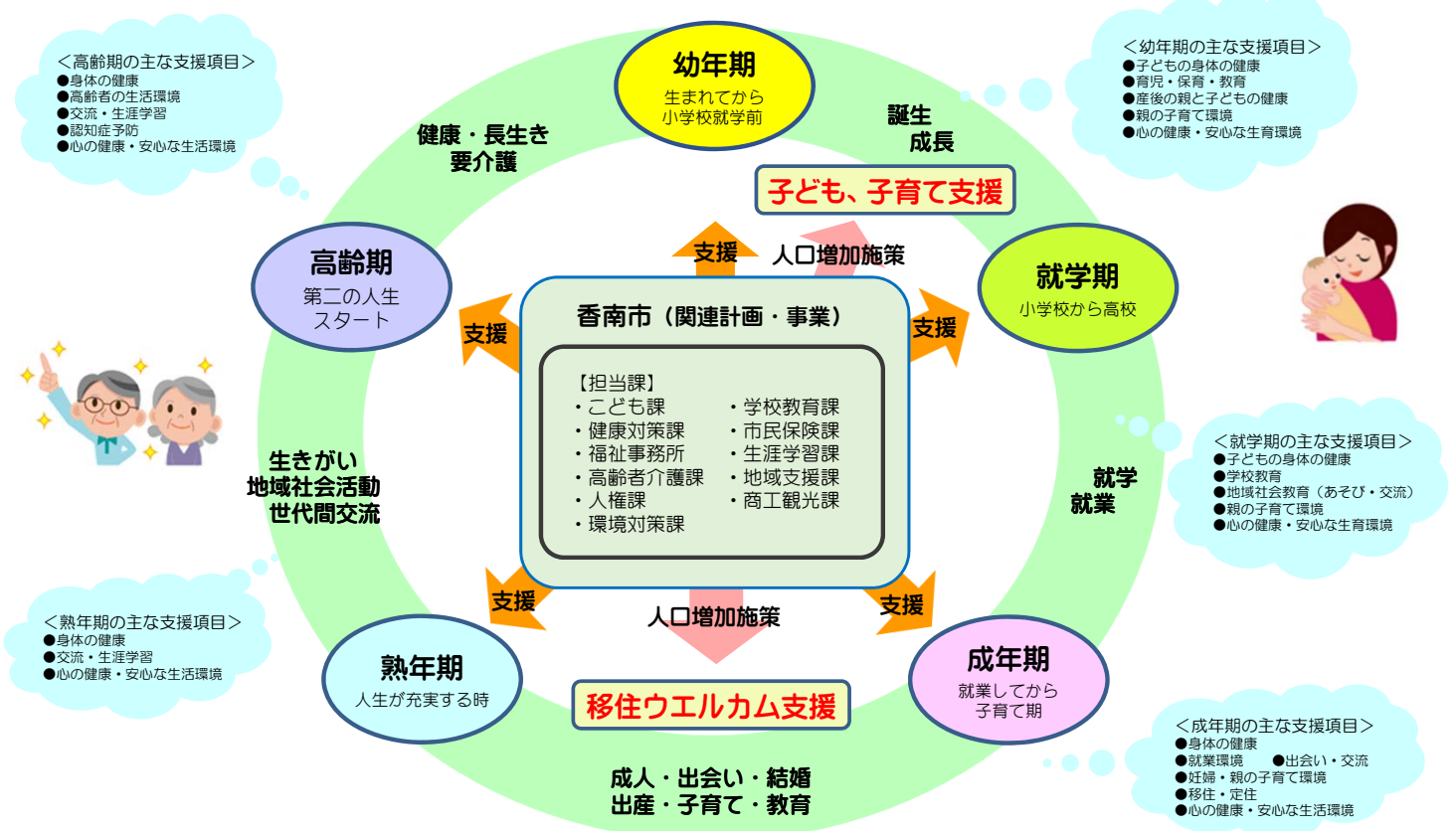
(※ PDCAとは…PLAN(計画)、DO(実施)、CHECK(評価)、ACTION(改善))



図-1 PDCAサイクルの概念図

3. 香南市 人生支援計画の全体概要図(各期の支援項目・目標・指標)

人生をトータルでサポートすることで、安心して生きがいを感じられるような環境を創出し、「香南市に住んで良かった」と思える「人生支援」を行います。



【幼年期の目標・指標】

1. 妊産婦の安心で安全な環境づくりの推進
⇒パパママ教室参加率
2. 親と子の心と体の健康づくり
⇒この地域で子育てしやすいと思う親の割合、ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合、新生児訪問対応割合、育児教育相談利用者数
3. 子どもと子育て家庭に優しい環境づくり
⇒地域子育て支援センター利用者数、保育所の一時預かり数、市のHP(子育て情報サイト)のアクセス数、こうなんファミリーサポートセンター会員数
4. 質の高い保育・教育の推進
⇒本の読み聞かせ回数、朝食摂取割合(3歳児)
5. すべての子どもの成長を保障する環境づくり
⇒ひとり親家庭医療費助成利用者数

【就学期の目標・指標】

1. 豊かな人間形成を育む環境づくり
⇒スポーツ少年団(団体・会員)数、夏休み子ども教室の開催(参加人数)
2. 子ども・親・家庭に優しい環境づくり
⇒児童クラブの利用者数
3. 親と子の心と体の健康づくり
⇒朝食摂取割合(小学生)
4. 学校と地域の連携による教育環境づくり
⇒将来の夢を持つ児童生徒の割合(小学校・中学校)、地域学校協働本部における1校あたり年間活動のべ日数
5. すべての子どもの成長を保障する環境づくり
⇒不登校児童生徒の発生率(小学校・中学校)、スポーツ大会参加者数、子どもよさこい参加者数、ひとり親家庭医療費助成利用者数、児童生徒の肥満傾向率(小学5年、中学2年)

【成年期の目標・指標】

1. いきいきと健やかな人に優しいまちづくりの推進
⇒健康診査受診者数、社会参加のための外出支援サービス利用者数、成人歯科健診受診者数(30歳)
2. 出会い・新しい家庭づくり支援の推進
⇒出会いの場の開催回数、参加人数、結婚新生活支援事業補助金活用件数
3. 親と子ども・働く環境との両立支援の推進
⇒パパママ教室参加率
4. 生きがいを感じられ参画できる地域社会の形成支援
⇒生涯スポーツ教室の参加者数、市長杯・教育長杯の参加者数、スポーツ少年団認定員資格の取得者数、市美術展への出品者数
5. 配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援
⇒DV相談窓口数、障害者虐待相談対応・支援
6. 移住ウエルカム支援の推進
⇒移住促進HPのアクセス回数、県外からの移住者数、空き家バンク新規登録数、移住希望者向けお試し滞在住宅の稼働率、地域おこし協力隊任期満了後の定住者数

【熟年期の目標・指標】

1. いきいきと健やかな人に優しいまちづくりの推進
⇒特定健診受診率、メタボリックシンドローム該当者割合(男性・女性)、睡眠で休養がとれている割合、成人歯科健診受診者数(40・50・60歳)
2. 生きがいを感じられ参画できる地域社会の形成支援
⇒ボランティア登録者数、地域活性化総合補助金活用自治会数
3. 配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援
⇒DV相談窓口数、社会参加のための外出支援サービス利用者数、福祉医療費助成事業利用者数

【高齢期の目標・指標】

1. 健康で長生きできる環境づくりの推進
⇒特定健診受診率、口腔機能向上教室及び高齢者食生活改善栄養教室参加者数、軽スポーツの参加者数、成人歯科健診受診者数(70歳)
2. 世代間交流を楽しみ生活文化の伝承ができる地域社会づくりの推進
⇒風揚げ・交流事業参加者数、町民運動会参加団体数
3. 親・子・孫で支える地域社会づくりの推進
⇒軽度生活援助事業1月あたりの利用者数、ボランティア参加者数
4. 配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援
⇒認知症サポーター養成講座受講者数、認知症カフェ参加者数
5. 地域での支え合いがあり、香南市に住んで良かったと思える環境づくりの推進
⇒いきいきクラブ事業参加者数、シルバー人材センター登録者数

